

令和3年度学校評価に係る学校関係者評価結果について

日立メディカルセンター看護専門学校

1 目的

本校の教育理念の実現に向けた学校運営について行った自己評価の結果を評価することを基本に、学校関係者評価を行い公表する。

2 評価基準

学校を評価するための9つの大項目（学校運営、管理運営・財政、教育課程・教育活動、入学・卒業対策、学生生活への支援、施設設備、教員の育成、広報、地域との連携）について、5（よい）、4（ややよい）、3（ふつう）、2（やや不十分）、1（不十分）、の5段階で評価を実施した。

3 評価者

学校関係者評価委員 7人

4 評価時期

令和3年度の学校運営を対象に令和4年6月に実施した。

5 評価方法

運営委員会において学校評価に係る自己評価の結果を報告し、意見を求めるとともに評価点を集計した結果を関係者評価として整理した。

6 結果

- (1) 9つの大項目（図1参照）の評価点について、「学校運営」、「管理運営・財政」、「教育課程・教育活動」、「入学・卒業対策」、「学生生活への支援」、「施設設備」、「広報」が4.0以上となっており概ね良好な結果であった。
- (2) 一方、「教職員の育成」、「地域との連携」については、「ふつう」との評価3.0を上回っているものの、さらに評価を高める取組が必要との意見があると考えられる。
- (3) 「教職員の育成」については、研究・研修活動などへの参加が十分ではなかったこと、また、「地域との連携」については、コロナ禍によりやむを得ないところもあるが、地域連携につながる学校運営が見えてこないところに課題があることなどにより、評価が低くなっているものとする。
- (4) 学校関係者評価を今後の学校運営に活かせるよう、評価の高いところは、さらなる評価向上に努め、評価の低いところは改善していくことに取り組むこととし、その実現に向けては、具体的な取組を掲げ、教職員間での情報の共有化を図りながら共通理解のもとで取り組んでいくこととする。

<参考> 大項目に対する評価

1 学校運営 (4.3)

学校運営の考え方などについて次のように評価した。

- 地域医療に重要な看護師の確保に向け、育成に積極的に取り組んでいる。
- 3年課程の開校から2年が経過したところであり、良い点、悪い点を明確にすることは難しいが、手探りながらも良好な運営に取り組んでいる。
- 教育方針や教育計画など運営委員会での議論が学校運営に活かされている。
- 定期的に運営委員会が開催され、少子化等の将来を見据えた対策が協議されている。

2 管理運営・財政 (4.3)

組織の整備、教職員の職務、学籍管理、危機管理、事業計画と予算、学校評価などについて、次のように評価した。

- 新入生が60名入学すれば財政面で経営が成り立つとの想定を今のところ上回っており、引き続き応募が増えることを期待する。
- 学校再編が一応の区切りが付きこれからの定員確保に不安は残るが、現状の学校運営については概ね良好である。
- 日立メディカルセンターの理事会においても、看護専門学校の運営や財政について協議されている。

3 教育課程・教育活動 (4.1)

(1) 教育理念・目標、教育課程編成などについて、次のように評価した。

- 教育課程編成などは看護師養成という視点から概ねうまくできている。

(2) 授業、実習、単位管理、学級経営などについて、次のように評価した。

- 単位取得の可否が複数の委員で評価・協議されている。
- 学力差、年齢差、様々な家庭状況の学生がいる中で教員は教育指導に苦勞していることが伺える。

4 入学・卒業対策 (4.3)

入学選抜、進路などについて、次のように評価した。

- 3年生の後期は、国家試験対策をしながら単位を取れるようなシステムを作れると良い。
- 今年度で定数に近い3学年が揃ったことから、来春の国家試験において高い合格率を達成すべく取組が必要である。
- 入学については少子化の中ではあるがうまく行っていると思う。卒業に向けても教員全体で国家試験合格に取り組んでいる。
- 残念ながら退学する学生が数名いる。退学する理由や退学者の傾向などをフィードバックすることが必要である。
- 国家試験合格率がやや低く改善を要する。卒業後は市内に就業してくれ

ることが期待されている。

- 入試面接時に、オープンキャンパス時の先生方の対応が良かったとの意見が多く聞かれた。

5 学生生活への支援 (4.4)

学修継続、社会活動などについて、次のように評価した。

- コロナ対策をしながらも実習等うまくできている。学校内でのクラスターが出ないように気遣いながらの指導に苦勞が感じられる。
- サークル活動等、学業以外の学生生活について楽しんでいるか等が見えてこない。
- 経済的支援が必要な学生への対応（給付型奨学金の充実）が必要である。
- 授業だけでなく仲間づくりの場や時間を提供できると良い。
- 学生の健康管理や福利厚生についての支援が適切になされている。

6 施設整備 (4.3)

教育・学習環境、実習施設などについて、次のように評価した。

- 入試面接時に、新校舎で明るい雰囲気であり実習施設が整っているとの意見が多く聞こえている。
- 校舎の設備や学習の環境が良好に整備されている。

7 教職員の育成 (3.9)

研究・研修活動などについて、次のように評価した。

- 参加が難しい状況もあるが、できる限りの講習等への参加が望ましい。
- きめ細やかな指導には教員が少なく、多忙であると感じる。
- 教職員の熱心さが感じられる。
- 経験に応じ研修の機会を継続していくことも大切かと思う。
- 研究活動等、教職員の育成の機会は概ね十分に確保されている。

8 広報 (4.0)

広報活動などについて、次のように評価した。

- マスコミや駅への広告の設置等、学生募集の積極的取組を行っている。
- 高校訪問や学校説明会等、コロナ禍であっても積極的に行っている。
- 学生募集ポスターの写真を工夫する余地がある。
- 学校訪問やポスター作成など様々な取り組みがなされ、学生募集などの啓発活動につながっている。

9 地域との連携 (3.2)

地域との連携などについて、次のように評価した。

- コロナ禍の中で困難な状況であったと思われる。
- コロナ禍が明けた後の活動を今からしっかり考える必要がある。
- コロナが収束してくれないとなかなか難しいと思うが、できる限りの事は行ってほしい。
- 受験者確保のためにも近隣自治体の職員との交流を持ってほしい。

- 看護の日のイベントを行い、近隣住民の血圧・血糖測定を行うなどの機会が必要である。
- 看護の日などにイベント開催等の企画を行うことが必要である。

10 その他の意見

- 市内の同世代の専門学生や大学生、社会人とのサークル活動などを介しての交流など、看護師になってからもつながりを持てる関係性を築くことも期待する。

以 上